
平成 31 年度予算資料

松 本 市

目 次

1	各部当初予算のポイント	
(1)	総務部	1
(2)	政策部	3
(3)	財政部	5
(4)	危機管理部	7
(5)	地域づくり部	9
(6)	文化スポーツ部	11
(7)	環境部	13
(8)	健康福祉部	15
(9)	こども部	17
(10)	農林部	19
(11)	商工観光部	21
(12)	建設部	23
(13)	上下水道局	25
(14)	病院局	27
(15)	教育部	29
2	平成 31 年度 国・地方の予算	
(1)	平成 31 年度 国の歳入歳出予算	31
(2)	平成 31 年度 地方財政収支見通しの概要	33
(3)	地方税制改正（案）の概要	35
3	市税一覧	37
4	地方交付税	39
5	市債	41
6	使用料・手数料及び貸付料の改定状況	43
7	地方消費税率引上げ分の状況（松本市・平成 31 年度当初予算）	46
8	人件費（一般会計）	47
9	国民健康保険事業	49
10	後期高齢者医療事業	53
11	介護保険事業	
(1)	第 7 期介護保険事業計画	54
(2)	介護保険特別会計の構成	57
12	交通安全施設等整備事業	59
13	道路橋りょう新設改良事業	61
14	街路整備事業	67

総務部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

(単位:千円、%)

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
3,542,430	3,341,500	200,930	6.0

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 平和を創る事業の推進

幅広い世代に平和の連鎖を広げるため、これまでの平和推進事業を継続するとともに、平和への思いを次世代につなげる平和を創る取組みを推進します。

(2) ICTを活用した行政サービスの向上と地域情報化の推進

AI/RPAを活用して、業務の効率化による働き方改革や行政サービスの向上を図るほか、公共施設へのWi-Fi整備等により地域情報化の取組みを推進します。

(3) 多文化共生の推進

国籍や民族などの異なる人々が、価値観の違いや多様な文化を認め合い、地域社会の一員として共に生きていくための取組みを推進します。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
1	人権・男女共生課	5つの重点目標		重点目標③ 経済の好循環の創出			
		【総務費】	歳出額 (特財)	5,500 (2,750)	5,500 (2,750)	0 (0)	仕事と家庭を両立しながら働き続ける環境整備のため、企業の体制づくりを支援するもの ・企業セミナー ・企業訪問による相談 ・従業員セミナー ・従業員カウンセリング ・就業規則等の制定・改正の支援
		男女共同参画推進費 〔仕事と家庭の両立支援事業〕	現在値 (H29)	両立支援プログラム策定企業数 19社			
目標値 (H31)	両立支援プログラム策定企業数 70社						

4 主要事業

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
(1) 平和を創る事業の推進								
2	平和推進課	【総務費】 平和推進事業費	○ ☆	歳出額 (特財)	9,790 (520)	7,690 (520)	2,100 (0)	平和祈念式典、小中学生平和ポスター展、広島平和記念式典参加のほか、松本ユース平和ネットワーク事業などを通じ、特に若い世代に向けた平和事業を進めるもの 〔インターネット平和資料館(仮称)〕 戦争関連資料や戦争体験談をインターネット上で公開するもの
				現在値 (H28)	平和について考える取組みが行われている地域であると思う市民の割合47.3%			
				目標値 (H33)	平和について考える取組みが行われている地域であると思う市民の割合56.0%			
(2) ICTを活用した行政サービスの向上と地域情報化の推進								
3	情報政策課	【総務費】 業務システム最適化事業費 〔AI/RPAの実証実験〕	◎	歳出額 (特財)	3,000 (0)	0 (0)	3,000 (0)	AI/RPAを活用して、ロボット(ソフトウェア)により定型・単純作業の省力化を行うほか、効率化による人手不足の解消、残業時間の減少や本来職員が集中すべき相談、窓口業務へのシフトなど働き方改革を進めるもの ・AI議事録作成サービス利用による実証実験 ・RPA試験適用、適用結果評価と導入準備
				現在値 (H30)	AI/RPAを利用する業務数 0業務 (H31からの新規事業)			
				目標値 (H32)	AI/RPAを利用する業務数 30業務			
4	情報政策課	【総務費】 第2次業務システム最適化事業費 〔端末仮想化〕	○	歳出額 (特財)	83,130 (0)	33,030 (0)	50,100 (0)	「仮想化技術」を活用し、全ての端末を仮想化することにより、セキュリティを強化するとともに、災害等に対する業務継続性の確保、テレワークの本格導入、タブレット端末の有効活用及び新庁舎建設等への対応を可能とするもの
				現在値 (H30)	端末の仮想率 50%			
				目標値 (H32)	端末の仮想率 100%			
5	情報政策課	【総務費】 情報化推進費 〔公共施設・公共Wi-Fi整備〕	○	歳出額 (特財)	13,500 (8,260)	35,490 (29,280)	△ 21,990 (△ 21,020)	公共施設利用者の利便性などの向上や、災害時の情報収集・発信避難所環境の充実を図るため、インターネットにパソコンやタブレット等を無料接続できる情報通信環境を整備するもの 〔整備箇所〕6施設 駅前会館、浅間温泉文化センター 体育館(総合・中央・鎌田・南部)
				現在値 (H30)	公共Wi-Fi整備済施設 36施設			
				目標値 (H31)	公共Wi-Fi整備済施設 42施設			
(3) 多文化共生の推進								
6	人権・男女共生課	【総務費】 多文化共生事業費 〔実態調査〕	◎	歳出額 (特財)	4,330 (0)	0 (0)	4,330 (0)	多文化共生推進プラン(H28～32年度)の見直しに向けた、多文化共生に関する実態調査を行うもの ・実態調査(外国人、日本人、企業)
				現在値 (H29)	第2次多文化共生推進プランの施策実施率 26%			
				目標値 (H31)	第2次多文化共生推進プランの施策実施率 70%			

政策部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
222,830	183,500	39,330	21.4

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 新たな総合計画（基本構想及び第11次基本計画）の策定

第10次基本計画を着実に推進するとともに、住民の意向を的確に把握する調査等を実施し、新たな総合計画の立案につながる基礎的資料を整理するものです。

(2) 中核市移行の推進

主体的なまちづくりの推進と市民サービスの更なる向上を図るため、平成33年4月1日を中核市の移行期日とし、移行に向けた取組みを進めるものです。

(3) 松本暮らし定住化の促進

地方への移住に関心が高まっている中で、本市の魅力を積極的に発信し、各世代の交流人口の増加や移住定住の促進を図るものです。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
1	政策課	5つの重点目標		重点目標⑤ 将来世代のためのハード整備			
		【総務費】 新庁舎建設事業費 (基金積立金除く)	歳出額 (特財)	24,000 (0)	540 (0)	23,460 (0)	躯体・設備ともに老朽化の進む市役所庁舎について、来庁者の安全・安心を確保し、より利便性と満足度の高い行政サービスを提供するため、平成37年度中の供用開始を目指し、新庁舎の建設計画を進めるもの ・H30～H31年度 基本計画策定
			現在値 (H30)	基本構想の策定を完了、基本計画の策定に着手			
			目標値 (H37)	新庁舎の供用開始			
2	政策課	5つの重点目標		重点目標⑤ 将来世代のためのハード整備			
		【総務費】 県営空港対策事業費 〔信州まつもと空港 運航支援事業〕	歳出額 (特財)	21,720 (0)	21,760 (0)	△ 40 (0)	信州まつもと空港の航空路線の維持や充実のため、ネーミングライツ事業やスポンサー支援事業等を通じ、運航支援を行うもの [H30年度の就航状況] 福岡線：2往復4便、札幌線：1往復2便 丘珠線：(季節運航)1往復2便 大阪線：(季節運航)1往復2便
			現在値 (H30)	信州まつもと空港就航便数 10便/日			
			目標値 (H31)	信州まつもと空港就航便数 10便/日(現状維持)			

4 主要事業

(◎新規事業、○拡充事業、☆こども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
(1) 新たな総合計画（基本構想及び第1次基本計画）の策定								
3	政策課	【総務費】 総合計画策定事業費	◎	歳出額 (特財)	5,580 (0)	0 (0)	5,580 (0)	松本市基本構想2020及び第10次基本計画の計画年度が平成32年度をもって終了することから、新たな総合計画の策定に着手するもの H31年度 基礎調査実施 H32年度 総合計画策定
				現在値 (H30)	策定作業着手準備			
				目標値 (H32)	策定作業完了			
(2) 中核市移行の推進								
4	中核市推進室	【総務費】 中核市移行事業費	◎	歳出額 (特財)	640 (0)	0 (0)	640 (0)	中核市移行の手続きや移譲事務の調整、保健所の設置等について、県の関係課と協議・調整を実施 また、中核市移行に関すること（移譲事務の概要、組織、職員体制、給与制度など）について総務省と、保健所設置に関することについて厚生労働省と、調整を進めるもの
				現在値 (H30)	中核市推進室を設置し移譲事務の調整及び保健所の設置準備の開始			
				目標値 (H33)	H33年4月1日中核市へ移行			
(3) 松本暮らし定住化の促進								
5	都市交流課	【総務費】 松本暮らし定住化促進事業費	○	歳出額 (特財)	18,580 (5,750)	910 (0)	17,670 (5,750)	都市部での移住セミナーの開催、移住定住情報の発信、移住相談対応等を実施 〔新規事業〕 「まつもと暮らし移住・転職応援サポート事業」：本市への移住希望者に対して仕事に関する情報提供、就業相談、職業斡旋等の支援等を行うことで企業とのマッチングを図り、本市への移住定住を促進するもの
				現在値 (H29)	本市への移住者数15世帯24人 (担当課把握分)			
				目標値 (H31)	本市への移住者数20世帯32人 (担当課把握分)			
(4) その他								
6	広報課	【総務費】 広報業務費 (広報まつもと印刷費) 〔広報まつもと特集企画の充実〕	○	歳出額 (特財)	59,540 (4,900)	54,760 (4,860)	4,780 (40)	市政の重要課題等を市民と共有するため「広報まつもと」のカラーページを増やし、市としての明確なメッセージを積極的に発信するもの
				現在値 (H29)	市民満足度調査(若者の市政情報等を把握するメディアの広報紙の占める割合 隔年実施) 61.3%			
				目標値 (H31)	上記同比率 63.0%			

財政部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

(単位:千円、%)

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
10,660,660	11,063,330	△ 402,670	△ 3.6

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 公共施設マネジメントの推進

公共施設の効率的・効果的な維持管理を実現するため、施設の集約化・複合化・老朽化対策等を推進します。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
1		5つの重点目標					
		【総務費】 公共施設マネジメント費	歳出額 (特財)	2,240 (0)	2,230 (0)	10 (0)	健全で持続可能な行財政運営を確立するため、施設にかかるコストや利用実態に関するデータを開示し、問題意識や情報を市民と共有しながら、計画的、長期的な視点を持って公共施設保有量の縮減を図るもの
			現在値 (H30)	施設総量 2.95%削減			
目標値 (H31)	施設総量 3.50%削減						

4 主要事業

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
(1) 公共施設マネジメントの推進								
2	契約管財課	【総務費】 財産管理費 〔ひかり電話変更工事〕	◎	歳出額 (特財)	5,100 (0)	0 (0)	5,100 (0)	既存の電話回線をメタルケーブル回線から光ファイバーケーブルを使用した、ひかり電話に換えることにより、経費節減をはかるもの
				現在値 (H30)	ひかり電話導入施設 4施設			
				目標値 (H31)	ひかり電話導入施設 41施設			
3	契約管財課	【総務費】 財産管理費 〔公共施設等総合管理計画に基づく施設廃止業務〕		歳出額 (特財)	285,770 (182,100)	157,000 (0)	128,770 (182,100)	「公共施設等総合管理計画」に基づき、不要となった施設のうち、老朽化が進み転用困難な建物を計画的に解体するもの [H31年度解体施設] 13施設 6,249.51㎡
				現在値 (H30)	解体施設延床面積 30,760.74㎡ (削減率2.90%)			
				目標値 (H31)	解体施設延床面積 37,010.25㎡ (削減率3.48%)			

危機管理部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
3,995,940	3,231,330	764,610	23.7

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 消防団活動の充実強化

地域防災の核となる消防施設・装備の整備を計画的に進め、団員確保対策を進めるものです。

(2) 情報伝達手段の計画的整備

災害時等に有効な情報伝達手段となる防災行政無線の整備と合併地区の老朽化した設備の更新を計画的に図るものです。

(3) 災害用備蓄体制の整備

大規模災害発生後の避難生活時に配慮が必要な乳幼児及びその保護者用の備蓄物資整備を図るものです。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
1	危機管理課	5つの重点目標		重点目標① 健康ときずなづくり			災害時に政府及び全国各地から調達する大量の支援物資の受入れ、配送を効率的に行い、物資を滞留させない体制を構築するため、支援物資集積拠点を整備するもの ・造成、建築工事、竣工式等（H32.2供用開始予定）
		【総務費】	歳出額 (特財)	1,106,360 (631,900)	98,810 (49,100)	1,007,550 (582,800)	
		防災物資ターミナル整備事業費	現在値 (H30)	事業進捗率 25.6%			
			目標値 (H31)	事業進捗率 100.0% (H31年度内の供用開始)			

4 主要事業

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
(1) 消防団活動の充実強化								
2	消防防災課	【消防費】 消防団員費 〔消防団装備整備事業〕	○	歳出額 (特財)	24,180 (0)	8,890 (0)	15,290 (0)	消防団員の安全な活動を支援するため、全団員の装備を整備するもの [継続] H29～31年度（3年計画） ・救助用半長靴、ケブラー手袋の配備 梓川、波田、安曇、奈川ブロック及び機能別分団（上高地、奈川女性） [拡充] H31～32年度（2年計画） ・新基準活動服への更新（941着）
				現在値 (H30)	全団員の2/3へ半長靴と手袋を配備 ・H30配備数：半長靴748足 ：手袋411双			
				目標値 (H32)	全団員への配備等完了 ・H31配備完了（半長靴、手袋） ・H32更新完了（新基準活動服）			

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
3	消防防災課	【消防費】 単独消防設備等整備 事業費 〔消防団車両整備事 業〕	◎	歳出額 (特財)	11,240 (10,500)	70,110 (66,500)	△ 58,870 (△ 56,000)	消防力の維持向上のため、年次計画により消防団車両等の更新整備を図るもの 〔更新基準〕 車両22年、小型ポンプ15年 ・軽積載車2台 8分団(島内)、15分団(芳川)
				現在値 (H30)	車両更新 7台			
				目標値 (H31)	車両更新 2台			
4	消防防災課	【消防費】 単独消防施設等整備 事業費 〔消防団詰所等整備 事業〕	◎	歳出額 (特財)	200,080 (178,100)	204,040 (185,500)	△ 3,960 (△ 7,400)	消防団の機能強化を図るため、更新計画に基づき、建築から30年以上経過した消防団詰所等の改築や整備を行うもの ・設計 14分団(笹賀)、21分団(内田)、 ・建築 15分団(芳川)、41分団(波田)、 42分団(波田) ・解体 15分団(芳川)、41分団(波田)、 42分団(波田)
				現在値 (H30)	用地1カ所、設計3カ所、工事3カ所			
				目標値 (H31)	設計2カ所、工事3カ所、解体3カ所			

(2) 情報伝達手段の計画的整備

5	消防防災課	【総務費】 地域防災無線整備事 業費 (四賀・安曇・奈川 地区同報系防災無線 設備更新)	◎	歳出額 (特財)	149,750 (149,700)	0 (0)	149,750 (149,700)	四賀・安曇・奈川地区の同報系防災無線設備を、旧松本地区で運用中の同報系デジタル防災無線に更新するもの ・事業年度 H31～34年度 ・総事業費 約4億5,000万円 ・H31年度 機器製造及び改修工事 〔地域防災無線管理事業費から組替〕 組替前のH30年度予算額 415,850千円 (波田・梓川地区更新工事)
				現在値 (H30)	同報系デジタル防災行政無線 人口カバー率 97%			
				目標値 (H34)	同報系デジタル防災行政無線 人口カバー率 100%			

(3) 災害用備蓄体制の整備

6	危機管理課	【総務費】 防災関係費 〔備蓄体制の整備 (乳幼児及び保護者 用の備蓄物資)〕	◎ ☆	歳出額 (特財)	10,470 (0)	0 (0)	10,470 (0)	大規模災害発生直後の避難生活時に必要となる、6歳以下の乳幼児(5,200人)やその保護者の備蓄物資を、3年計画で整備するもの ・食料及び生活必需品1日分 ・一時避難所における生活用品3日分
				現在値 (H30)	(H31から整備開始)			
				目標値 (H33)	乳幼児5,200人の3日分を整備			

(4) その他事業

7	危機管理課	【総務費】 自主防災組織活動支 援事業費 〔自主防災組織活性 化支援事業〕	○	歳出額 (特財)	15,410 (0)	15,060 (0)	350 (0)	自主防災組織等の防災活動を促進するため、防災資機材設備の購入や訓練の実施に対し補助するもの 〔拡充〕避難所運営委員会が実施する避難所開設運営訓練に対する補助を追加
				現在値 (H30)	防災資機材、除雪機購入経費への補助 (町会自主防災組織または地区単位)			
				目標値 (H31)	避難所開設運営訓練実施への補助 (避難所運営委員会単位)			

地域づくり部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
464,820	421,210	43,610	10.4

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 第2次松本市地域づくり実行計画に基づく取組みの推進

第2次松本市地域づくり実行計画に基づき、様々な主体が、協働によって地域課題を解決する仕組みづくりや具体的な地域活動への支援を進めます。

(2) 市民活動と協働の推進による地域づくりの推進

市民活動と協働を推進するための制度の構築やその活動を支援する市民活動サポートセンターの施設環境の整備を行うものです。

(3) 市民生活総合相談体制の推進

複雑化・多様化する市民の困りごとに対し、庁内のハブ機関として調整するとともに、消費生活や生活困窮に関する相談と支援の体制を整えるものです。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
1	地域づくり課	5つの重点目標		重点目標① 健康ときずなづくり			住民が主体となって取り組む地域の課題解決や活性化、特色を活かした魅力ある地域づくりを具体的に推進していくために助成等するもの ・推進交付金交付対象団体：市内35地区の町会連合会又は緩やかな協議体 ・地域振興事業補助金補助候補事業：本郷地区（浅間温泉）「わいわい広場」
		【総務費】 地域づくり推進事業費	歳出額 (特財)	29,300 (0)	23,660 (0)	5,640 (0)	
		〔地域づくり推進交付金〕	現在値 (H30)	地域づくり推進交付金事業 交付金活用事業数 157件			
		〔地域振興事業補助金〕	目標値 (H31)	地域づくり推進交付金事業 交付金活用事業数 160件			
2	地域づくり課	5つの重点目標		重点目標① 健康ときずなづくり			市民活動団体の立ち上げ資金や運営資金の低利融資を行っている「NPO夢バンク」への資金の貸付、市民の無償の労力提供による公共施設等の維持管理に対する原材料支給、職員及び市民の意識啓発・広報活動等を行うもの
		【総務費】 市民協働推進事業費	歳出額 (特財)	9,060 (0)	9,060 (0)	0 (0)	
			現在値 (H30)	市民労力提供に対する原材料支給事業 申請件数 16件			
			目標値 (H31)	申請件数 20件			
3	市民相談課	5つの重点目標		重点目標① 健康ときずなづくり			生活困窮者の社会的及び経済的な自立を実現するために、生活困窮者自立支援法に基づく相談支援機関である「まいさぼ松本」の支援員が、同法関連事業を活用し、関係機関と連携しながら包括的かつ継続的な伴走型の支援を実施するもの
		【民生費】 生活困窮者自立支援事業	歳出額 (特財)	37,980 (27,630)	36,680 (26,030)	1,300 (1,600)	
		〔自立相談支援事業〕	現在値 (H30)	新規相談者数 34.7名/月			
		〔住居確保給付金〕 他3事業	目標値 (H31)	国のKPI（H30年度）より 新規相談者数 62.4名/月			

4 主要事業

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
(1) 第2次松本市地域づくり実行計画に基づく取組みの推進							
4	地域づくり課	【総務費】 地域づくり推進事業費 〔地域づくりインターンシップ戦略事業〕	歳出額 (特財)	39,690 (10,000)	35,880 (6,790)	3,810 (3,210)	松本大学と連携し、地元志向を持った若者を地域づくりを担う人材として育成するとともに、地域での起業や就職を支援するもの
			現在値 (H30)	地区でのインターン活動人数 9人			
			目標値 (H31)	地区でのインターン活動人数 12人			
5	地域づくり課	【総務費】 町会関係費	歳出額 (特財)	149,170 (0)	148,620 (0)	550 (0)	市政運営のパートナーである町会への支援として、市町会連合会への補助、よりよい町会運営に向けての検討、地区町会連合会・単位町会への交付金の交付、町会加入促進に向けた取組みを行うもの
			現在値 (H30)	町会加入率 78.7%			
			目標値 (H31)	町会加入率 78.7% (現状維持)			
6	地域づくり課	【総務費】 地域おこし推進事業 〔地域おこし協力隊事業〕	歳出額 (特財)	4,920 (0)	3,410 (0)	1,510 (0)	人口減少、高齢化が進む安曇・奈川地区で地域おこし協力隊等の制度を利用した人的支援を行い、地域の団体と連携し、地域づくりを推進していくためのコーディネート等、地域資源(風穴、木材、小水力発電、地域の特産物等)を活かした地域の活性化を目指すもの
			現在値 (H29)	安曇・奈川地区で活動中 地域おこし協力隊員1名			
			目標値 (H31)	新たな産業の創出、地域力の維持強化を図り、任期満了後地区内に定住			
(2) 市民活動と協働の推進による地域づくりの推進							
7	地域づくり課	【総務費】 サポートセンター運営事業費	歳出額 (特財)	6,240 (0)	5,920 (0)	320 (0)	「市民活動サポートセンター」を市民活動の拠点施設として位置付け、市民活動団体の活動や研修の場として提供するもの さらに、協働や市民活動に関わる各種相談、情報収集・提供、団体・人材育成のための各種講座、団体同士の連携強化のための交流会等の事業を実施し、市民活動の支援・促進を図るもの
			現在値 (H30)	サポートセンター登録団体数 312団体			
			目標値 (H31)	サポートセンター登録団体数 353団体			
(3) 市民生活総合相談体制の推進							
8	市民相談課	【商工費】 消費者保護事業費 〔消費者行政活性化事業〕 〔消費者保護事業〕	歳出額 (特財)	11,360 (5,400)	11,480 (5,070)	△ 120 (330)	市民が安心して豊かな消費生活を営むことができるように専門相談員を配置し、情報通信社会の複雑化、多様化を背景に増加傾向にある消費生活相談に対応するもの また、消費者教育による啓発、情報発信を行い、市民を消費者被害から守るとともに、消費者市民社会の構築に向けた取組みを実施するもの
			現在値 (H29)	出前講座等の年間実施件数 16回			
			目標値 (H31)	出前講座等の年間実施件数 29回			
9	市民相談課	【総務費】 相談業務費ほか 〔相談業務〕 〔広聴業務〕	歳出額 (特財)	10,790 (0)	11,090 (0)	△ 300 (0)	複雑化・多様化する市民の困りごとに寄り添い、庁内のハブ機関として総合的に調整するもの 横断的・包括的、継続的な庁内ネットワークを強化するとともに、関係機関へのネットワークを構築し、悩みを抱える市民を早期発見・支援するもの
			現在値 (H28)	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所があると思う市民の割合 35%			
			目標値 (H32)	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所があると思う市民の割合 38%			

文化スポーツ部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

(単位:千円、%)

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
3,921,320	3,333,870	587,450	17.6

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 地域文化とスポーツによる市民交流の推進と地域の活性化

松本城の世界遺産登録推進やスポーツの振興を通じて、市民同士の交流推進と、地域の絆づくりを図ります。

(2) 文化芸術・スポーツ活動環境の整備推進

市民が、日常的に文化芸術やスポーツ活動に親しむことのできる施設環境の整備を進めます。

(3) 子ども・若者等が気軽に文化芸術に触れることのできる機会の創出

子どもや若者をはじめ多くの市民が多種多様な文化芸術に気軽に触れることのできる機会を創出するとともに、若手の育成と交流を推進します。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額				事業内容
				項目	H31	H30	比較	
1	スポーツ推進課	5つの重点目標		重点目標① 健康とさずなづくり				スポーツによる「健康寿命延伸都市・松本」の確かな実現・松本市の魅力の発信・交流人口の拡大による地域活性化とコミュニティづくりの推進を図るため、第3回松本マラソンを開催するもの また、より魅力ある大会とするため、制限時間を6時間に延長するもの
		【総務費】	歳出額 (特財)	93,250 (93,000)	88,180 (88,180)	5,070 (4,820)		
		負担金 (松本マラソン)	現在値 (H30)	参加人員 (エントリー数)	・マラソンの部 9,416人 ・ファミリーランの部262組			
			目標値 (H31)	募集定員	・マラソンの部 10,000人 ・ファミリーランの部250組			
2	スポーツ推進課	5つの重点目標		重点目標③ 経済の好循環の創出				松本山雅FCの集客力・求心力を松本独自の地域資源として活かし、「みるスポーツ」等による地域振興や中心市街地等への誘客につなげ、地域活性化の推進を図るもの また、平成31年度はJ1昇格に伴い、ホームゲームでのアウェーサポーターの増加を見込むもの
		【総務費】	歳出額 (特財)	9,260 (0)	10,190 (0)	△ 930 (0)		
		プロスポーツ振興事業費 〔プロスポーツ賑わい創出事業〕	現在値 (H30)	パブリックビューイング観戦者数	4,429人			
			目標値 (H31)	パブリックビューイング観戦者数	5,000人			

4 主要事業

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
(1) 地域文化とスポーツによる市民交流の推進と地域の活性化								
3	文化振興課	【総務費】 松本城世界遺産推進事業費	○	歳出額 (特財)	5,720 (5,720)	8,210 (8,210)	△ 2,490 (△ 2,490)	松本城の恒久的な保存と市民の文化財保護意識の醸成及び地域産業の活性化を図るため、松本城の世界遺産登録に向けて必要な調査研究を進めるもの また、「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会と連携して市民挙げての普及啓発活動に取り組むもの
				現在値 (H30)	普及啓発事業を実施した地区等の割合 20%			
				目標値 (H32)	普及啓発事業を実施した地区等の割合 60%			
4	スポーツ推進課	【総務費】 プロスポーツ振興事業費 〔地域交流活動促進事業〕	○	歳出額 (特財)	1,360 (0)	970 (0)	390 (0)	松本山雅FC、信濃グランセローズ、信州ブレイブウォリアーズの事業に、V1リーグに参戦したVC長野トライデントの事業を新たに加え、県内を拠点としたチームの試合をみる機会や選手と交流する機会等を提供して、スポーツ振興を図るもの
				現在値 (H30)	事業参加者・無料観戦者数 1,050人			
				目標値 (H31)	事業参加者・無料観戦者数 2,440人			
(2) 文化芸術・スポーツ活動環境の整備推進								
5	文化振興課	【総務費】 まつもと市民芸術館大規模改修事業費	○	歳出額 (特財)	388,630 (369,100)	1,239,340 (1,169,100)	△ 850,710 (△ 800,000)	市民芸術館を適切に運営するため、舞台・施設設備及び建築物等の老朽化、経年劣化及び破損などについて、「市民芸術館中・長期修繕計画」に基づき、開館15年目となる平成30年度から3カ年で舞台設備関係を中心とした大規模改修工事を実施するもの
				現在値 (H29)	来館者及び事業参加者数 267,076人			
				目標値 (H32)	来館者及び事業参加者数 220,000人			
6	スポーツ推進課	【総務費】 野球場改修事業費	○	歳出額 (特財)	159,480 (151,500)	14,480 (13,700)	145,000 (137,800)	深刻な雨漏りの発生及び施設・設備の老朽化が著しい松本市野球場(平成3年開場)を改修するもの
				現在値 (H29)	利用満足度(施設環境) 59.0%			
				目標値 (H33)	利用満足度(施設環境) 80.0%			
7	スポーツ推進課	【総務費】 四賀運動広場整備改修事業費	○	歳出額 (特財)	1,190,160 (1,082,200)	225,850 (169,300)	964,310 (912,900)	四賀運動広場(昭和51年開場)を中規模程度の野球大会が開催できるグラウンドとして改修するもの
				現在値 (H28)	利用者数 8,582人			
				目標値 (H32)	利用者数 29,000人			
(3) 子ども・若者等が気軽に文化芸術に触れることのできる機会の創出								
8	国際音楽祭推進課	【総務費】 国際音楽祭推進事業費 (セイジ・オザワ松本フェスティバル)	○	歳出額 (特財)	185,530 (0)	185,850 (0)	△ 320 (0)	「音楽とスポーツ都市宣言」を掲げ、国際都市・音楽都市を標榜する本市の本格的な実践活動として「サイトウ・キネン・オーケストラ(指揮:小澤征爾)」を主体とした「国際音楽祭」を開催するもの
				現在値 (H29)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合 48%			
				目標値 (H31)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合 55%			

環境部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
2,338,940	2,246,270	92,670	4.1

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 高効率設備の導入による低炭素化の推進

温室効果ガス排出量が増加傾向にある家庭部門や業務部門において、高効率設備の導入による低炭素化を積極的に推進します。

(2) 食品ロス削減事業の一層の推進

飲食店での持ち帰りの浸透や、家庭での取組み強化に重点を置きながら、市民アンケートによる意識調査の検証とさらなる施策の展開を図ります。

(3) 新たな一般廃棄物処理計画に基づくごみの減量化

平成30年3月策定の一般廃棄物処理計画（平成30年度～39年度）に基づき、事業系ごみの削減など、ごみの減量化施策を進めます。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
1	環境政策課	5つの重点目標		重点目標④ 暮らしと生活の基盤づくり			省エネ効果の高い設備更新を行うことができるESCO事業を活用し、市施設の低炭素化を図るもの ・城山介護老人保健施設への自己資本型ESCO事業による高効率ボイラーやBEMS等の導入
		【衛生費】	歳出額 (特財)	62,320 (26,920)	0 (0)	62,320 (26,920)	
		地球温暖化防止事業費 〔市施設低炭素化推進事業〕	◎ 現在値 (H29)	市役所全体の温室効果ガス排出量 H22年度比削減率 12.0%			
			◎ 目標値 (H32)	市役所全体の温室効果ガス排出量 H22年度比削減率 13.0%			

4 主要事業

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
(1) 高効率設備の導入による低炭素化の推進							
2	環境政策課	【衛生費】 地球温暖化防止事業費 〔住宅用温暖化対策設備設置推進事業〕	歳出額 (特財)	39,890 (0)	39,890 (0)	0 (0)	家庭部門における温室効果ガス排出量の削減を図るため、既存住宅に温暖化対策設備の導入等を行う市民に対し、補助金を交付するもの
			◎ 現在値 (H29)	市域の温室効果ガス排出量削減比率 H19年度比 △0.6% (H26年度値)			
			◎ 目標値 (H31)	市域の温室効果ガス排出量削減比率 H19年度比 13.0% (H29年度値)			

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
(2) 食品ロス削減事業の一層の推進								
3	環境政策課	【衛生費】 環境基本計画推進事業費 〔食品ロス削減事業〕		歳出額 (特財)	4,450 (150)	3,190 (160)	1,260 (△ 10)	「残さず食べよう! 30・10運動」を中心に、積極的な啓発事業の推進を図るもの ・持ち帰りグッズの活用による、持ち帰り実施店の拡大 ・インターネット広告等を活用したインセンティブ創出による推進店・事業所認定数の増加 ・市民アンケート調査による効果検証とさらなる施策の展開 他
				現在値 (H29)	30・10運動等協力店数 177店舗			
				目標値 (H31)	30・10運動等協力店数 200店舗			
4	環境政策課	【衛生費】 環境基本計画推進事業費 〔園児を対象とした環境教育事業〕	○☆	歳出額 (特財)	200 (100)	3,970 (2,020)	△ 3,770 (△ 1,920)	幼児期から環境意識を高めるため、園児を対象に環境教育を実施するもの ・「食べ残し」と「ごみの分別」をテーマとした参加型環境教育を、保育園、幼稚園等で実施 ・新規に作成した、食品ロス削減啓発用絵本を活用
				現在値 (H29)	園児の意識変化の割合 49.8%			
				目標値 (H31)	園児の意識変化の割合 65.0%			
(3) 新たな一般廃棄物処理計画に基づくごみの減量化								
5	環境業務課	【衛生費】 ごみ減量対策事業費 〔ごみ排出実態把握事業〕	◎	歳出額 (特財)	2,240 (0)	0 (0)	2,240 (0)	ごみ減量事業の基礎となる一般廃棄物の排出実態を的確に把握するため、家庭系及び事業系可燃ごみの組成調査・食品ロス調査を実施し、ごみ削減に向けた施策の展開につなげるもの
				現在値 (H29)	総ごみ量 89,793 t			
				目標値 (H39)	総ごみ量 73,016 t			
6	環境業務課	【衛生費】 塵芥埋立処理費 〔エコトピア山田延命化事業〕		歳出額 (特財)	3,720 (0)	7,580 (0)	△ 3,860 (0)	エコトピア山田の長期使用に向け、平成30年度に決定した方針により再整備を行い、埋立可能容量を有効に使用してエコトピア山田の延命化を図るもの ・循環型社会形成推進地域計画の策定 ・他市事例の現地調査
				現在値 (H29)	埋立可能年数 8年(焼却灰区画)			
				目標値 (H38)	埋立可能年数 20年			
(4) その他事業								
7	環境政策課	【衛生費】 地球温暖化防止事業費 〔製紙機導入事業〕	◎	歳出額 (特財)	5,750 (0)	0 (0)	5,750 (0)	職員の紙使用量削減の意識向上と、市民への環境教育の推進のため、製紙機を導入し、市役所で発生する廃棄書類を、コピー用紙等に再生するもの
				現在値 (H29)	市役所全体の紙使用量 H28年度比削減率 4.9%			
				目標値 (H31)	市役所全体の紙使用量 H28年度比削減率 10.0%			
8	環境保全課	【霊園特別会計】 中山霊園ユニバーサルデザイン化事業費	◎	歳出額 (特財)	12,870 (0)	0 (0)	12,870 (0)	中山霊園使用者の利便性を向上するため、参拝時の水汲み場を増設するもの
				現在値 (H29)	給水管整備 3,240m 水汲み場新設 49カ所			
				目標値 (H31)	給水管整備 4,840m 水汲み場新設 63カ所			

健康福祉部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
20,285,310	19,946,670	338,640	1.7

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 地域で安心して暮らし続けるための支援体制の構築

平常時の見守りや災害時の避難支援体制を整備するとともに、相談支援の充実を図り、地域で安心して暮らし続けることができる支援体制を構築します。

(2) 市民一人ひとりの健康づくりの推進

適切な生活習慣を維持し、自ら進んで健康づくりに取り組む環境を整え、市民一人ひとりの健康づくりを支援します。

(3) 安心して出産・子育てできる支援体制の強化

妊娠期から子育て期までにおける支援策、相談体制の充実を図ることにより、安心して出産、子育てできる環境づくりを進めます。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
1	高齢福祉課	5つの重点目標		重点目標① 健康ときずなづくり			介護保険地域支援事業に位置付けられている、生活支援体制整備事業を推進するため、第2層生活支援コーディネーターを35地区に順次配置するもの ・H31年度は7地区への配置を予定
		【介護保険特別会計】 生活支援体制整備事業費 〔第2層生活支援コーディネーター配置事業〕	◎ 歳出額 (特財)	26,650 (21,520)	0 (0)	26,650 (21,520)	
			◎ 現在値 (H30)	第2層生活支援コーディネーター配置地区 0地区 (H31～配置開始)			
		◎ 目標値 (H34)	第2層生活支援コーディネーター配置地区 35地区				
2	高齢福祉課	5つの重点目標		重点目標① 健康ときずなづくり			高齢者が地域で安心して暮らし続けられる社会を目指し、生活支援や認知症施策の中心となる基幹包括支援センターの機能を充実させるため、地域包括支援センターの業務をすべて委託化するもの ・中央地域包括支援センター委託 (12センターの委託化完了)
		【介護保険特別会計】 総合相談事業費 権利擁護事業費 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費 生活支援体制整備事業費〔地域包括支援センター委託事業〕	○ 歳出額 (特財)	252,420 (203,820)	236,240 (190,180)	16,180 (13,640)	
			○ 現在値 (H30)	委託包括 11カ所			
		○ 目標値 (H31)	委託包括 12カ所 (委託化完了)				
3	健康づくり課	5つの重点目標		重点目標① 健康ときずなづくり			転倒や骨折予防を目的に、地域で継続した体力づくりを実践するため、40歳以上の市民を対象とした体力健診の実施や、体力づくりサポーターを育成するもの ・サークル立上げ支援【新規】
		【衛生費】 身体活動維持向上事業費	○ 歳出額 (特財)	2,560 (0)	2,760 (0)	△ 200 (0)	
			○ 現在値 (H30)	住民主体の運動サークル立上げ支援 0カ所			
		○ 目標値 (H31)	住民主体の運動サークル立上げ支援 10カ所				

4 主要事業

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
(1) 地域で安心して暮らし続けるための支援体制の構築								
4	福祉計画課	【民生費】 地域福祉計画推進事業費 〔災害時要援護者支援プラン推進事業〕	○	歳出額 (特財)	5,120 (0)	3,180 (0)	1,940 (0)	災害発生時に避難が困難となる高齢者や障害者等の要援護者を支援するため、地域内での情報共有や福祉事業者との連携を図り、平常時からの見守り体制や災害時の避難支援体制を構築するもの ・避難行動要支援者名簿に関する条例施行準備 ・新システムの構築
				現在値 (H29)	町会等へ情報提供する 要援護者数 9,127人			
				目標値 (H31)	町会等へ情報提供する 要援護者数 15,000人			
5	福祉計画課	【民生費】 地区福祉ひろば利用 拡大事業費 〔「生きがいの仕組みづくり」加速化推進事業〕	◎	歳出額 (特財)	2,930 (2,930)	0 (0)	2,930 (2,930)	福祉ひろばを拠点とした「生きがいの仕組みづくり」の加速化を図るため、「健康寿命延伸製品」に認定されている「生活総合機能改善機器」を福祉ひろばに設置し、様々な担い手を通じて、機器を活用する通いの場の充実を図るもの ・機器の設置地区(8地区) (※従来は、設置補助3/4を実施)
				現在値 (H29)	住民が機器を使って学習や運動指導等を行った回数 10回			
				目標値 (H31)	住民が機器を使って学習や運動指導等を行った回数 480回			
(2) 市民一人ひとりの健康づくりの推進								
6	健康づくり課	【衛生費】 受動喫煙防止「松本スタイル」推進事業費	○	歳出額 (特財)	36,590 (0)	830 (0)	35,760 (0)	松本市受動喫煙防止に関する条例に基づく、受動喫煙防止区域の設定、公共喫煙所の設置及び禁煙啓発事業により、受動喫煙防止対策を推進するもの ・受動喫煙防止区域の設定 ・公共喫煙所の設置 ・公共施設の敷地内禁煙
				現在値 (H29)	特定健診受診者の喫煙率 12%			
				目標値 (H31)	特定健診受診者の喫煙率 11%			
7	保険課	【国民健康保険特別会計】 データヘルス計画推進事業費	◎	歳出額 (特財)	15,750 (15,750)	0 (0)	15,750 (15,750)	被保険者の医療費の適正化と、健康維持、糖尿病等の重症化を予防するため、レセプト情報等の分析により、保健事業対象者の抽出や保健指導を行うもの ・糖尿病治療中断者受診勧奨 ・糖尿病性腎症重症化予防事業 ・受診行動適正化 ・多剤通知
				現在値 (H30)	糖尿病治療中断者の医療機関受診率 0%			
				目標値 (H32)	糖尿病治療中断者の医療機関受診率 60%			
8	健康づくり課	【衛生費】 がん検診推進事業費 (大腸がん検診ワンコイン化)	○	歳出額 (特財)	268,880 (0)	270,770 (0)	△ 1,890 (0)	がん検診の受診率向上によるがんの早期発見等を目的に、各事業を実施するもの ・大腸がん検診の自己負担額改定 事業費影響額 (+540千円) 自己負担額: 530円→500円 (自己負担のワンコイン化で、手軽さによる受診率向上を図る)
				現在値 (H30)	大腸がん検診(クーポン以外)受診者見込 17,100人			
				目標値 (H31)	大腸がん検診(クーポン以外)受診者見込 17,698人			
(3) 安心して出産・子育てできる支援体制の強化								
9	健康づくり課	【衛生費】 少子化対策事業費 〔産婦健診事業〕	◎☆	歳出額 (特財)	15,160 (7,390)	0 (0)	15,160 (7,390)	「産後うつ」の早期発見や、新生児の虐待予防等を目的に産後2週間、産後1カ月の産婦に対する健診費用2回分を補助するもの ・補助金 1回上限5,000円
				現在値 (H28)	4カ月健診(子育てに負担を感じた時に対処法があると回答した母親 77%)			
				目標値 (H31)	4カ月健診(子育てに負担を感じた時に対処法があると回答した母親 80%)			

こども部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
10,321,100	10,095,720	225,380	2.2

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 待機児童解消に向けたソフト・ハード整備
保育士の増員や保育園のICT化により保育環境の改善を図り、保育士を安定的に確保するとともに、市の認可による地域型保育事業や既存保育園の改修・増築により、保育の受皿を拡大するなど、待機児童の解消に向けて取り組みます。
(2) 子育てしやすい環境のさらなる充実
医療的ケアが必要な児童も安心して保育園等に預けられるよう、専門的スタッフによるケア体制を整えるとともに、児童館・児童センターのエアコンを追加設置するなど、安心して子どもを預け働くことのできる環境づくりの拡充を進めます。
(3) 子どもにやさしいまちづくりの推進
食事・学習提供型の子どもの居場所づくり事業を拡充するとともに、子どもの権利相談室「こころの鈴」の相談体制を強化するなど、子どもにやさしいまちづくりを推進します。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
1	こども育成課	5つの重点目標		重点目標② 次世代を育むまちづくり			
		【民生費】	歳出額 (特財)	13,080 (8,760)	9,680 (6,440)	3,400 (2,320)	
		子育て支援センター 運営事業費（人件費含む） （子育てコンシェル ジュ配置）	◎☆ 現在値 (H30)	子ども子育て安心ルーム 3カ所 子育てコンシェルジュ 3人			
			目標値 (H31)	子ども子育て安心ルーム 4カ所 子育てコンシェルジュ 4人			
2	こども福祉課	5つの重点目標		重点目標② 次世代を育むまちづくり			家庭における養育環境が脆弱であることから、乳児院に保護された乳幼児の家庭の保護者に対し、乳児院の専門性を活かしたアウトリーチ型の家庭支援を行い、虐待防止等につなげるもの（松本市・乳児院・児童相談所の連携による「信州松本・新しい育みプロジェクト」）
		【民生費】	歳出額 (特財)	1,360 (880)	0 (0)	1,360 (880)	
		児童福祉事業費 〔乳児院との連携による養育支援事業費〕	◎☆ 現在値 (H29)	乳児院平均滞在期間 473日			
			目標値 (H31)	乳児院平均滞在期間 327日			
3	保育園課	5つの重点目標		重点目標② 次世代を育むまちづくり			老朽化が著しい園舎を現地改築するもの併せて、保育園に隣接し狭陰化が課題となっている波田児童センターの放課後専用室を整備するため、保育園と児童センターの機能を持つ複合施設を建設するもの 〔敷地面積〕約6,990㎡ 〔床面積〕約1,393㎡ 〔構造〕鉄骨造一部2階建て
		【民生費】	歳出額 (特財)	42,510 (14,900)	11,150 (0)	31,360 (14,900)	
		波田中央保育園改築事業費	☆ 現在値 (H30)	老朽化した木造園舎の数 1カ所			
			目標値 (H32)	老朽化した木造園舎の数 0カ所			

4 主要事業

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
(1) 待機児童解消に向けたソフト・ハード整備								
4	保育課	【民生費】 保育園業務ICT化 事業費	◎☆	歳出額 (特財)	18,040 (0)	0 (0)	18,040 (0)	保育士の働きやすい環境を整備するため、登校園の記録や日誌の作成など、これまで手作業で行っていた業務に保育園専用の業務システムを導入するとともに、専用端末を配備し、保育士の業務負担軽減を図るもの ・H31 システム導入20園 ・H32 システム導入22園
				現在値 (H29)	囑託保育士離職率 15.4%			
				目標値 (H32)	囑託保育士離職率 11.5%			
5	保育課	【民生費】 補助金 〔地域型保育事業〕	◎☆	歳出額 (特財)	72,000 (48,000)	0 (0)	72,000 (48,000)	待機児童解消に向け、市の認可事業として、0～2歳児専用の保育施設を設置・運営する民間事業者を募集し、事業者に対して国・県の補助金を活用し、施設整備補助を行うもの ・小規模保育施設 2園 ・事業所内保育施設 1園
				現在値 (H30)	待機児童数 43人			
				目標値 (H32)	待機児童数 17人			
(2) 子育てしやすい環境のさらなる充実								
6	保育課	【民生費】 保育所管理運営費 〔医療的ケア児への 看護サービス提供事 業費〕	◎☆	歳出額 (特財)	13,480 (7,110)	0 (0)	13,480 (7,110)	増加しつつある医療的ケア児を保育園で安定的に受け入れていくため、小児の医療的ケアの提供を行える専門性の高い訪問看護ステーションと委託契約を締結するもの ・医療的ケアが必要な園児 6人 ・保育園は4カ所で実施予定
				現在値 (H29)	安心して子どもを預けることができる保育園等がある 69.6%			
				目標値 (H31)	安心して子どもを預けることができる保育園等がある 76.6%			
7	子ども育成課	【民生費】 児童館管理運営費 〔児童館・児童センターエアコン設置事業〕	◎☆	歳出額 (特財)	10,180 (0)	0 (0)	10,180 (0)	平成29年度に、各児童館・児童センターの1～2部屋へエアコンを設置して以降、放課後や夏休みの預り児童が増加しており、夏休みの延長も検討されているため、登録児童が著しく増加している施設に、エアコンの追加設置を行うもの
				現在値 (H30)	児童館・児童センター全112部屋のうち、51部屋に設置済			
				目標値 (H31)	児童館・児童センター全112部屋のうち、62部屋に設置済			
(3) 子どもにやさしいまちづくりの推進								
8	子ども福祉課	【民生費】 子どもの未来応援事業費	○☆	歳出額 (特財)	3,540 (0)	1,590 (0)	1,950 (0)	子どもの権利条例に基づき、子どもの自己肯定感向上を目的とした地域の居場所拡大等を図るもの ・交付金上限額の増額 ・長期休暇中のみの事業も対象とする
				現在値 (H30)	市内の食事・学習提供型居場所開設数 10カ所			
				目標値 (H32)	市内の食事・学習提供型居場所開設数 16カ所			
9	子ども育成課	【民生費】 子どもの権利推進事業費 (こころの鈴の運営)	○☆	歳出額 (特財)	8,230 (0)	7,710 (0)	520 (0)	子どもの権利に関する条例に基づき設置している、子どもの権利相談室「こころの鈴」の業務に青少年相談を統合するとともに、年々件数が増加している相談に対応するための体制強化を図るもの ・相談員の勤務時間の拡充
				現在値 (H27)	困ったり、つらいとき、誰にも相談しない 9%			
				目標値 (H31)	困ったり、つらいとき、誰にも相談しない 6%			

農林部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
1,968,500	1,941,440	27,060	1.4

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 食育活動の推進による農業の活性化と消費拡大

地元産農産物の理解を深める食育活動を推進し、地産地消による農業の活性化や消費拡大を図ります。

(2) 森林の適正な維持・管理の促進

計画的な間伐などによる森林整備とともに、松くい虫被害先端地での徹底駆除を行うため、地域協議会等と連携し、守るべき松林の松くい虫被害対策を推進します。

(3) 伝統野菜等のブランド化による地域振興

信州の伝統野菜などの生産拡大や商品開発、PR活動を信州大学や関連団体等と連携して行い、伝統野菜の魅力を活かした地域振興を図ります。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
1	農政課	5つの重点目標		重点目標③ 経済の好循環の創出			地産地消や食育を推進するため、子ども・ユース層を対象に行う農業・加工体験活動への支援、味覚教育に係る事業を実施するもの [拡充]農業・加工体験事業対象にユース層を追加、親子農業体験教室事業を統合 [新規]味覚教育に係るカリキュラム作成及び人材育成（48人の講師育成）
		【農林水産業費】	歳出額 (特財)	4,080 (0)	3,800 (0)	280 (0)	
		農畜産物マーケティング推進事業費 〔地産地消・食育推進事業〕	◎ ☆ 現在値 (H29)	地元農産物の生産・加工体験者数 延べ 9,587人			
			目標値 (H31)	地元農産物の生産・加工体験者数 延べ 15,000人			
2	農政課・西部農林課	5つの重点目標		重点目標③ 経済の好循環の創出			意欲ある農業の担い手や女性農業者を育成するため、認定農業者に対し農業機械等のリース・取得費及び女性農業者の研修受講等の活動費の一部を補助するもの [農政課分] 15,800千円 [西部農林課分] 9,600千円
		【農林水産業費】	歳出額 (特財)	25,400 (0)	25,400 (0)	0 (0)	
		農業者育成事業費 〔未来を担う農業経営者支援事業〕	現在値 (H29)	認定農業者数 511経営体 (うち女性 46)			
			目標値 (H31)	認定農業者数 525経営体 (うち女性 50)			
3	耕地林務課	5つの重点目標		重点目標③ 経済の好循環の創出			地域林産業の発展のため、伐期を迎えたカラマツの販路の拡大を目指し、県産のカラマツ材を使用した住宅建築等へ補助するもの
		【農林水産業費】	歳出額 (特財)	1,030 (0)	2,060 (0)	△ 1,030 (0)	
		カラマツ材販路拡大事業費	現在値 (H30)	カラマツ材を使用した住宅建築等の補助件数(累計) 5件(H31.1末現在)			
			目標値 (H31)	カラマツ材を使用した住宅建築等の補助件数(累計) 20件			

4. 主要事業

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
(2) 森林の適正な維持・管理の促進								
4	耕地林務課	【農林水産業費】 松くい虫対策事業費	○	歳出額 (特財)	204,230 (114,660)	157,010 (84,070)	47,220 (30,590)	松くい虫による松枯れ被害のまん延を防ぐため、伐倒駆除、薬剤散布及び更新伐等を実施し、松くい虫被害対策の現状と対策の必要性、薬剤の安全性についての講演会を市民向けに開催するもの。 [新規] ・松くい虫被害対策の現状と必要性等についての市民向け講演会を開催
				現在値 (H30)	伐倒駆除による材積量 3,664m ³ /年			
				目標値 (H31)	伐倒駆除による材積量 5,000m ³ /年			
(3) 伝統野菜等のブランド化による地域振興								
5	西部農林課	【農林水産業費】 農畜産物マーケティング推進事業費 〔奈川産食材ブランド化推進事業〕		歳出額 (特財)	4,040 (0)	5,480 (0)	△ 1,440 (0)	奈川産食材のブランド化を図り、奈川地区の地域振興を推進するため、奈川そば、えごま等の生産拡大、商品開発及び消費拡大に取り組むもの
				現在値 (H29)	奈川産農産物の商品開発(累計)5品目			
				目標値 (H31)	奈川産農産物の商品開発(累計)6品目			
6	農政課	【農林水産業費】 農畜産物マーケティング推進事業費 〔ブランド化推進事業：松本健康野菜等作付奨励補助金〕		歳出額 (特財)	1,000 (0)	1,000 (0)	0 (0)	松本の農産物の高付加価値化を進めるため、松本一本ねぎ、稲核菜等の「信州の伝統野菜」の作付拡大する取組みを奨励するもの
				現在値 (H30)	松本健康野菜等作付奨励補助面積(累計)151.4a			
				目標値 (H31)	松本健康野菜等作付奨励補助面積(累計)211.4a			
(4) その他事業								
7	農政課	【農林水産業費】 農業者育成事業費 〔新規就農者育成対策事業・就農者育成対策事業〕		歳出額 (特財)	8,700 (0)	6,690 (0)	2,010 (0)	松本市以外から農業の新たな担い手を確保するため、都市部で開催される就農・移住フェア等に、UIJターン者に行方してもらい、就農相談を行うとともに、意欲ある就農希望者に3年間の実践的な農業研修を行い、時代の変化に対応できる農業経営者を松本に定着させるもの
				現在値 (H29)	新規就農者数(累計) 33人			
				目標値 (H31)	新規就農者数(累計) 35人			
8	耕地林務課・西部農林課	【農林水産業費】 多面的機能支払交付金事業費		歳出額 (特財)	284,050 (213,130)	258,940 (194,320)	25,110 (18,810)	農業・農村が有する、国土保全、水源かん養や景観形成などの多面的機能の推進・増進を図るため、農業者等が共同して取り組む地域活動や地域資源の質的向上を図る活動に支援するもの [耕地林務課分] 230,410千円 [西部農林課分] 53,640千円
				現在値 (H29)	活動組織 52組織 取組面積 3,980ha			
				目標値 (H31)	活動組織 54組織 取組面積 4,201ha			
9	西部農林課	【農林水産業費】 単独林道整備事業費 〔林道奈川安曇線トンネル延命化事業〕		歳出額 (特財)	92,390 (92,300)	78,850 (78,800)	13,540 (13,500)	林道奈川安曇線(乗鞍・白骨間)蛭窪トンネルの延命化を図るため、覆工背面の裏込め注入工事などを実施するもの ・H31年度施工予定 L=151m
				現在値 (H30)	空洞裏込め注入工事 L=70m			
				目標値 (H31)	空洞裏込め注入・排水補修工事完了			

商工観光部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
2,814,180	3,825,880	△ 1,011,700	△ 26.4

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 産学官連携、起業・創業などによる産業創発力の向上

松本市工業ビジョンに基づき、（一財）松本ものづくり産業支援センターを中心に、産業創発力向上や雇用の場の創出を図ります。

(2) 観光資源の質と発信力の向上

松本市観光ビジョンの実現に向けて、観光資源の更なる磨き上げを行い、マーケティングと情報発信の強化を図ります。

(3) 松本ヘルスバレーの構築

市民や産学官の共創により、健康・医療を切り口とする産業を創出して地域経済の好循環をもたらす「松本ヘルスバレー」の構築を進めます。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
1	商工課	5つの重点目標		重点目標③ 経済の好循環の創出			ICT拠点施設を核に、ICT人材や起業家の育成、既存企業の生産性向上等の支援、オフィス誘致等によりICTを活用した地域産業振興を図るとともに、新しい働き方の浸透に取り組むもの ・ICT拠点施設整備 （コワーキングスペース、サテライトオフィス、テレワークオフィス） ・ICT拠点施設運用開始（11月予定）
		【商工費】	歳出額 (特財)	297,380 (143,120)	30,110 (15,050)	267,270 (128,070)	
		産業創発支援事業費 〔ICT活用地域産業振興事業〕	現在値 (H27)	工業製品出荷額 4,894億円			
			目標値 (H39)	工業製品出荷額 6,206億円 (H34（中間見直し）5,621億円)			
2	健康産業・企業立地課	5つの重点目標		重点目標③ 経済の好循環の創出			・松本ヘルスバレー構想の両輪となる「市民の健康増進」と「ヘルスケア産業の創出・育成」を推進するため、「松本ヘルス・ラボ」の運営を支援し、松本発製品の企画やモニタリング調査を行うもの ・健康経営を切り口に、企業・団体が加入する「法人会員制度」の推進を図るもの（法人会員向けプログラムの作成・実施等）
		【商工費】	歳出額 (特財)	27,510 (0)	28,700 (14,350)	△ 1,190 (△ 14,350)	
		健康産業市民協働促進事業費 〔松本ヘルス・ラボ支援事業〕	現在値 (H30)	会員数 1,000人 企業との連携事業 14件			
			目標値 (H32)	会員数 1,200人 企業との連携事業 20件(※年3件程度)			
3	労政課	5つの重点目標		重点目標③ 経済の好循環の創出			企業に「健康経営」への積極的な取組みを促すため、市職員による企業訪問を核に、各種支援・フォローアップを実施するもの ・市職員による企業訪問（80社/年） ・健康経営セミナーの開催（1回/年） ・市健康経営研究会との連携による支援
		【労働費】	歳出額 (特財)	440 (0)	620 (0)	△ 180 (0)	
		勤労者福祉事業費 〔健康経営促進事業〕	現在値 (H28)	「健康づくりチャレンジ宣言」、セミナー参加企業の計 14社			
			目標値 (H33)	「健康づくりチャレンジ宣言」、セミナー参加企業の計 120社			

4 主要事業

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
(1) 産学官連携、起業・創業などによる産業創発力の向上							
4	商工課	【商工費】 産業創発支援事業費 〔(一財)松本ものづくり産業支援センター補助金〕	歳出額 (特財)	36,150 (0)	36,190 (0)	△ 40 (0)	松本市工業ビジョンに基づき、(一財)松本ものづくり産業支援センターを核として産業創発力の向上や雇用の創出を図るもの ・販路拡大や新製品開発支援によるものづくり産業の基盤強化、成長促進 ・産学官連携の推進 ・重点産業の推進 ・人材育成、多様な人材の活用支援
			現在値 (H27)	工業製品出荷額 4,894億円			
			目標値 (H39)	工業製品出荷額 6,206億円 (H34(中間見直し) 5,621億円)			
5	労政課	【労働費】 雇用対策事業費 〔ワーキングスペース活用型人材育成事業〕	歳出額 (特財)	3,770 (1,880)	3,750 (1,870)	20 (10)	離職中の女性が子育てをしながら就業できることを目指し、ワーキングスペースを活用してITスキル向上の研修を行い、就労につなげるもの 〔受講生〕 ・H30年度実績 前期19人、後期16人、計35人 (募集定員:1クール16人×2回=32人)
			現在値 (H29)	累計受講者数 48人			
			目標値 (H33)	累計受講者数 160人 (32人/年)			
(2) 観光資源の質と発信力の向上							
6	観光温泉課	【商工費】 観光宣伝事業費 〔光と氷の城下町フェスティバル事業〕	歳出額 (特財)	16,500 (0)	13,000 (0)	3,500 (0)	松本の冬の魅力を訴求するため、冬季の各イベント等を連動させた総合的なプロモーションにより、冬季における集客の向上を図るもの ・松本城氷彫フェスティバルの開催 ・冬期イルミネーションの実施 ・冬期イベントのPR
			現在値 (H29)	市内観光地延べ利用者数 5,115,958人			
			目標値 (H32)	市内観光地延べ利用者数 5,490,000人			
7	観光温泉課	【商工費】 国際観光都市推進事業費 〔外国人旅行者体験拡充事業〕	歳出額 (特財)	4,740 (0)	0 (0)	4,740 (0)	外国人旅行者の消費・滞在の拡大、まちなかの回遊性促進のため、松本の生活、文化等に触れる場の創出及び各個店の体験プログラムを周知するもの ・城下町文化体験イベント (12回/年) ・体験PRサイトの構築
			◎ 現在値 (H29)	外国人宿泊者数 162,428人			
			◎ 目標値 (H32)	外国人宿泊者数 230,000人			
(3) 松本ヘルスパレーの構築							
8	健康産業・企業立地課	【商工費】 健康寿命延伸新需要創造事業費 〔松本地域健康産業推進協議会〕	歳出額 (特財)	10,960 (3,000)	10,760 (0)	200 (3,000)	松本ヘルスパレー構想の基盤を確固たるものとするため、松本地域健康産業推進協議会を産学官連携のプラットフォームとして、成長の見込まれる健康産業マーケットへの進出を促進するもの ・健康産業フォーラムの開催 ・実証実験、実用化検証助成事業 ・世界健康首都会議の開催 ほか
			◎ 現在値 (H30)	新たに実用化した製品・サービス 5件			
			◎ 目標値 (H33)	新たに実用化した製品・サービス 8件			
(4) その他事業							
9	山岳観光課	【商工費】 焼岳小屋改築整備事業費	◎ 歳出額 (特財)	28,380 (28,000)	0 (0)	28,380 (28,000)	老朽化の著しい焼岳小屋を、避難場所としての機能保持及び環境配慮型トイレへの改修も含め、現地改築するもの ・事業年度 H31～33年度 ・施設概要 宿泊棟 2階建て (108㎡) トイレ棟 平屋 (10㎡) 【債務負担行為】 5,530千円 (工事監理委託料) 122,960千円 (工事請負費)
			◎ 現在値 (H30)	延べ宿泊者数 952人			
			◎ 目標値 (H33)	延べ宿泊者数 1,100人			

建設部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
7,178,870	7,010,160	168,710	2.4

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) コンパクトで魅力と活力にあふれたまちづくり

村井駅周辺地区、松本城三の丸地区の整備計画を進めるなどにより、立地適正化計画を具現化します。

(2) 歩行者・自転車・公共交通を優先した交通のまちづくり

平日ノーマイカーデーの推進、シェアサイクル、バスロケーションシステムの導入などにより、車を優先した社会からの転換を図ります。

(3) 快適で人に優しい道路環境整備

幹線道路・生活道路の整備及び道路・橋りょうなど既存インフラの適切な維持管理により、ゆとりを持って移動できる快適な道路環境の構築を進めます。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取り組み

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
1	城下町整備本部	5つの重点目標		重点目標⑤ 将来世代のためのハード整備			中心市街地の交通円滑化、隣接する広域避難地（松本城公園）への避難路としての都市機能確保及び史跡松本城を中心とした賑わいの創出を図るもの ・用地取得（2件）、移転補償 ・補償算定等
		【土木費】	歳出額（特財）	31,170 (21,540)	105,600 (102,880)	△ 74,430 (△ 81,340)	
		松本城周辺整備事業費（都市再生）	現在値（H30）	用地取得率 70.1%			
			目標値（H31）	用地取得率 70.7%			

4 主要事業

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
(1) コンパクトで魅力と活力にあふれたまちづくり							
2	都市政策課	【土木費】 都市計画策定事業費〔村井駅周辺整備〕	歳出額（特財）	227,700 (22,130)	60,050 (2,370)	167,650 (19,760)	市南部地域の拠点である村井駅の利便性や安全性を高めるため、駅舎のバリアフリー化や東西自由通路、駅前広場、周辺アクセス道路等の整備を行い、交通結節点機能を強化するもの ・駅施設等実施設計 ・東西駅前広場概略設計 他
			現在値（H28）	村井駅利用者数 3,552人			
			目標値（H32）	村井駅利用者数 3,808人			

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
(2) 歩行者・自転車・公共交通を優先した交通のまちづくり								
3	交通安全・都市交通課	【土木費】 自転車利用促進事業費 〔シェアサイクル事業〕	◎	歳出額 (特財)	16,760 (0)	0 (0)	16,760 (0)	松本市次世代交通政策実行計画に基づき、自動車からの転換及び環境負荷の少ない集約型都市構造の実現を目指して、公共交通機関を補完し、市民の新たな移動手段となるシェアサイクルを導入するもの ・H31年度4月から運用開始
				現在値 (H30)	事業者の選定 事業開始に向けた整備			
				目標値 (H31)	利用者数 19,333人			
(3) 快適で人に優しい道路環境整備								
4	建設課	【土木費】 道路改良事業費(防災安全)	◎	歳出額 (特財)	251,460 (185,490)	178,910 (153,300)	72,550 (32,190)	歩行者の安全確保と交通の円滑化のため、歩道設置を含めた2車線の道路整備を行うもの 〔市道波田98号線(波田森口)〕 ・事業年度: H20~H32 総延長: 2,037m ・総事業費: 9億 678万円 〔市道2181号線(浅間温泉2丁目)〕 ・事業年度: H28~H33 総延長: 320m ・総事業費: 3億9,186万円
				現在値 (H30)	事業者手箇所2路線			
				目標値 (H31)	用地買収、補償、用地測量や踏切改良負担			
5	維持課	【土木費】 リフレッシュロード事業費	◎	歳出額 (特財)	100,000 (63,000)	70,000 (0)	30,000 (63,000)	流通及び生活に密着した幹線道路について、舗装の補修だけでなく、植栽、歩道、道路付属施設などを総合的に整備するもの
				現在値 (H29)	道路整備済み延長 L=6.5km			
				目標値 (H31)	道路整備済み延長 L=9.4km			
(4) その他事業								
6	上高地対策課	【土木費】 上高地対策事業費	◎	歳出額 (特財)	28,330 (0)	10,590 (0)	17,740 (0)	日本を代表する山岳景勝地である上高地を、全ての利用者が安全で安心して訪れることができるようにするため、「松本市上高地対策短期・中長期計画」に位置付けた対策事業を実施するもの ・環境影響評価、構造物比較検討 ・仮設道維持管理 他
				現在値 (H30)	管理用道路のルート選定のため、環境調査、設計及び関係機関との協議			
				目標値 (H31)	管理用道路のルート案選定			
7	公園緑地課	【土木費】 美しいまち松本づくり事業費 〔全国都市緑化フェア事業〕	◎	歳出額 (特財)	187,700 (0)	70,280 (0)	117,420 (0)	県・中信4市の主催により開催される「第36回全国都市緑化信州フェア」の運営に関する負担をするもの ・開催期間: H31年4月25日~6月16日 ・メイン会場: 信州スカイパーク ・サブ会場: 国営アルプスあづみの公園 ・サテライト会場: 中心市街地
				現在値 (H30)	フェア・サテライト会場開幕に向けた準備			
				目標値 (H31)	来場者数 50万人			
8	住宅課	【土木費】 三世代家族支援事業費	◎	歳出額 (特財)	13,000 (0)	13,000 (0)	0 (0)	若い世代から高齢者まで、互いに支え合い、生活に生きがいを感じられる仕組みづくりとして、新たに三世代同居又は同居を始める家族の住宅取得・リフォーム、引越費用等の一部を補助するもの
				現在値 (H30)	申請件数 78件 (H31.1末現在)			
				目標値 (H31)	申請件数 120件			
9	建築指導課	【土木費】 建築物耐震補強促進事業費 (ブロック塀撤去)	◎	歳出額 (特財)	10,000 (5,000)	0 (0)	10,000 (5,000)	ブロック塀等の倒壊による歩行者の被害を未然に防止し、安全を確保するため、所有者等が行う避難路沿道等に面した危険なブロック塀等の撤去に対し、補助金を交付するもの
				現在値 (H30)	施策検討 (H31からの新規事業)			
				目標値 (H31)	撤去補助件数 100件			

上下水道局 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
20,002,510	20,172,730	△ 170,220	△ 0.8

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 水道水の安定供給

安全・安心でおいしい水の安定供給を行うため、主要水道施設の耐震化と老朽化した管路等の更新を計画的に進めます。

(2) 下水道の適正な維持管理

清潔で快適な生活環境の確保と水質保全を図るため、下水道施設の更新と併せて耐震化を計画的に実施します。

(3) 低炭素社会の推進

再生可能エネルギーの有効活用や省エネルギー設備の導入を促進し、低炭素社会の実現をめざします。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額				事業内容
				項目	H31	H30	比較	
1	上水道課	5つの重点目標		重点目標④ 暮らしと生活の基盤づくり				売電による収益の確保及び低炭素社会の実現を推進するため、小水力発電を導入するもの ・小水力発電による売電を開始 計画発電量 614,000kWh/年 （一般家庭90～110軒相当/年） 温室効果ガス削減量 312t(CO ₂)/年 （一般家庭60軒相当/年）
		【水道事業会計】	歳出額 (特財)	21,390 (17,160)	191,210 (0)	△ 169,820 (17,160)		
		小水力発電事業	現在値 (H30)	寿配水地において小水力発電設備設置工事を実施		目標値 (H31)	国の認定及び電力会社との接続契約により発電(売電)開始	

4 主要事業

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
(1) 水道水の安定供給								
2	総務課・水道課	【水道事業会計】 新水道ビジョン等策定事業	◎	歳出額 (特財)	43,970 (0)	0 (0)	43,970 (0)	現行の水道ビジョン(H23~32年度)が終期を迎えるため、水道法の改正を踏まえ、目指すべき将来像と今後10年間の施策を定めた新たな水道ビジョン等を策定するもの ・H33~42年度 新水道ビジョン ・H33~42年度 水道事業基本計画 ・H33~52年度 水道施設更新計画
				現在値 (H30)	社会情勢等の変化に伴い、現行水道ビジョンの評価、見直しが必要な状況			
				目標値 (H32)	広域化、民営化など水道法改正を踏まえた新たな水道ビジョン等の策定を完了			
3	水道課	【水道事業会計】 水道施設耐震化事業		歳出額 (特財)	534,840 (443,900)	554,810 (526,100)	△ 19,970 (△ 82,200)	大規模地震に備え、水道施設の被害を最小限に抑えるとともに、水道水が早期に供給できるよう、主要な水道施設の耐震化を進めるもの ・並柳第2配水地配水池等耐震補強工事 ・藤井配水地耐震補強工事 ・配水本管耐震化工事 L=530m 他
				現在値 (H29)	主要施設耐震化率 17.6%(3/17カ所) 基幹管路耐震化率 36.6%			
				目標値 (H31)	主要施設耐震化率 29.4%(5/17カ所) 基幹管路耐震化率 37.4%			
4	水道課	【水道事業会計】 老朽給・配水管改良事業		歳出額 (特財)	470,000 (179,100)	342,470 (93,200)	127,530 (85,900)	老朽化した給・配水管は、市民生活に支障を及ぼす恐れがあるため、計画的に改良を進めるもの ・女鳥羽川老朽配水管改良工事 ・村井駅北老朽配水管改良工事 ・老朽給水管取替委託 他
				現在値 (H29)	老朽配水管更新率 72.7% 老朽給水管更新率 18.4%			
				目標値 (H31)	老朽配水管更新率 74.7% 老朽給水管更新率 23.9%			

(2) 下水道の適正な維持管理

5	下水道課	【下水道事業会計】 下水道長寿命化及びストックマネジメント事業		歳出額 (特財)	740,140 (600,430)	584,980 (525,300)	155,160 (75,130)	老朽化が著しい主要な下水道施設の改築、更新を行うもの ・宮渕、両島浄化センターの水処理、汚泥処理施設、電気設備等の改築工事を委託 ・合流区域における管渠改築、更生工事
				現在値 (H29)	宮渕・両島浄化センター改築工事継続 管渠長寿命化整備延長 L=15.8km			
				目標値 (H31)	宮渕・両島浄化センター改築工事継続 管渠長寿命化整備延長 L=19.0km			
6	下水道課	【下水道事業会計】 下水道耐震化事業		歳出額 (特財)	294,780 (188,330)	122,600 (105,830)	172,180 (82,500)	大規模地震災害に備え、浄化センターの耐震補強と人孔及び管渠の耐震化を進めるもの ・宮渕浄化センター低段1、2系最初沈殿池耐震化工事委託 ・両島浄化センター管理棟耐震化工事委託 ・重要幹線管渠耐震化工事 他
				現在値 (H29)	城東第一汚水幹線人孔耐震化完了 管渠耐震化率 14.2%			
				目標値 (H31)	両島浄化センター管理棟耐震化完了 管渠耐震化率 16.7%			
7	下水道課	【下水道事業会計】 両島浄化センター汚泥処理施設改良事業	◎	歳出額 (特財)	17,000 (0)	0 (0)	17,000 (0)	両島浄化センターの汚泥処理施設のうち卵形消化槽には予備系列がなく、故障した場合の未消化汚泥の発生と処理、近隣住民への悪臭被害等を回避するため、高濃度濃縮設備及び消化槽を新設するもの ・H31年度 基本設計 ・H32年度 詳細設計 ・H33~34年度 新設工事
				現在値 (H30)	プロジェクト会議によるリスクと回避策の整理、検討			
				目標値 (H31)	高濃度濃縮設備及び消化槽の新設に向けた基本設計業務委託			

病院局 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
5,917,450	5,727,140	190,310	3.3

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 市立病院経営改革の推進

安定した経営の下で地域医療の基幹的な役割を担っていくことができるよう、医業収益の確保及び経費の削減による経営改革を推進し、経常収支黒字化を目指します。

(2) 四賀の里クリニックに常勤医師の配置

四賀の里クリニックに常勤医師を配置し、医師2人体制により地域医療の充実を図ります。

3 主要事業

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
(1) 市立病院経営改革の推進							
1	松本市立病院	【病院事業会計】 給与費（病院医業費用） 〔人員配置の適正化〕	歳出額 (特財)	3,142,320 (0)	3,202,200 (0)	△ 59,880 (0)	<ul style="list-style-type: none"> ・人員適正配置計画策定に先立ち、現在考えられる範囲での人員を削減 ・今後は、H30年度末に策定する人員配置計画に基づき適正化を推進
			現在値 (H30)	正規職員数（4月1日現在）298人 非常勤医師（ " ） 57人			
			目標値 (H31)	正規職員数（4月1日現在）293人 非常勤医師（ " ） 50人			
2	松本市立病院	【病院事業会計】 〔組織改革〕	歳出額 (特財)	- (-)	- (-)	- (-)	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルを回して経営改革を推進するため、H30年度中に、病院の会議・委員会等の運営組織を改革 ・H31年度、新組織によりPDCAサイクルを実行
			現在値 (H30)	・会議・委員会等の再編成			
			目標値 (H31)	・PDCAサイクルによる目標管理			
3	松本市立病院	【病院事業会計】 〔モニター会議の設置〕	歳出額 (特財)	- (-)	- (-)	- (-)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した病院運営を行うため、地域住民や利用者の意見を聴くモニター会議を設置
			現在値 (H30)	委員の構成、委員数、開催概要の検討			
			目標値 (H31)	年2回開催			

(2) 四賀の里クリニックに常勤医師の配置

4	四賀の里クリニック	【病院事業会計】 給与費（診療所医業費用）	歳出額 (特財)	115,960 (0)	121,270 (0)	△ 5,310 (0)	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤医師配置により職員18人体制 ・非常勤医師との2人体制により診察回数が増となるため、信大専門外来の診療日数1/2減、信大オンコール平日夜間減
			現在値 (H30)	医師1人体制			
			目標値 (H31)	医師2人体制			

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容
				項目	H31	H30	
(3) その他事業							
5	松本市立病院	【病院事業会計】 器械備品購入費 〔電子カルテシステム更新事業〕	歳出額 (特財)	300,000 (300,000)	0 (0)	300,000 (300,000)	<ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテシステム及び付随する14部門システムの更新(5年ごと) ・システムの更新に併せ、業務改善・効率化を図る。 ・新病院建設と市立診療所との連携を見据えた更新とする。 ・本稼動 H32年3月
			現在値 (H26)	H27.3月更新			
			目標値 (H31)	H32.3月更新			

教育部 平成31年度当初予算のポイント

1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減額	増減率
5,129,200	5,574,820	△ 445,620	△ 8.0

※人件費を除く額

2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

(1) 子どもたちの学びの場の充実

子どもたちが主体的に考え、学び、活動するため、科学に興味を持つ機会や、ICTを活用した教育の質の向上を進めます。

(2) 未来を拓く豊かな心と生きる力の育成

未来を担う子どもたちに読書に親しめる環境づくりを進め、心豊かな子どもたちの育成につなげます。

(3) 歴史や文化を活かしたまちづくり

歴史文化基本構想のもと、市民と協働し大学と連携しながら、魅力あるまちづくりを進めます。

3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業） （単位：千円）

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額				事業内容
				項目	H31	H30	比較	
1	博物館	5つの重点目標		重点目標⑤ 将来世代のためのハード整備				松本まるごと博物館構想に基づく基幹博物館を整備するもの 【計画年度】H28～35年度 ・実施設計の完了 ・拡張敷地の用地取得
		【教育費】	歳出額 (特財)	140,280 (122,480)	354,820 (350,000)	△ 214,540 (△ 227,520)		
		基幹博物館整備事業費	現在値 (H31)	実施設計 (H31年7月完了)				
			目標値 (H35)	開館予定 (H35年度中)				
2	教育政策課	5つの重点目標		重点目標② 次世代を育むまちづくり				教育文化センターを、「宇宙と科学」に特化した新科学館として整備するもの ・基本計画の策定 ・基本設計の実施 ・PFI導入可能性調査 (H31～32年度) 【債務負担行為】10,250千円
		【教育費】	歳出額 (特財)	58,540 (0)	23,820 (0)	34,720 (0)		
		新科学館整備事業費	現在値 (H30)	基本構想策定が完了				
			目標値 (H35)	開館予定				
3	松本城管理事務所	5つの重点目標		重点目標⑤ 将来世代のためのハード整備				「松本城およびその周辺整備計画」及び「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、内環状北線整備事業と一体的に、南・西外堀を整備するもの ・事業用地の取得
		【教育費】	歳出額 (特財)	134,780 (134,780)	258,450 (258,450)	△ 123,670 (△ 123,670)		
		南・西外堀復元事業費	現在値 (H30)	事業用地取得率 56%				
			目標値 (H31)	事業用地取得率 60%				

4 主要事業

(◎新規事業、○拡充事業、☆子ども・若者対象事業) (単位:千円)

No.	担当課	中事業名 〔事務事業名〕	区分	予算額			事業内容	
				項目	H31	H30		比較
(1) 子どもたちの学びの場の充実								
4	教育政策課	【教育費】 海洋教育パイオニア スクール事業費	◎ ☆	歳出額 (特財)	3,600 (0)	0 (0)	3,600 (0)	松本らしい科学や学びを、自ら探究していく子どもの育成を図るため、海洋教育パイオニアスクールプログラムの助成金を活用し、海洋教育に取り組むもの ・海洋教育推進協議会の設置 ・市内5校で先行実施 (田川、鎌田、芳川、安曇、波田小学校) ・教育課程特例校制度の研究と実施
				現在値 (H30)	海洋教育未実施 モデル校5校を選定			
				目標値 (H33)	海洋教育実施校 20校(市内小中学校) 教育課程特例校 3校程度			
5	学校教育課	【教育費】 I C T推進事業費	◎ ☆	歳出額 (特財)	8,780 (0)	0 (0)	8,780 (0)	学校におけるICT教育の質の向上を図るため、教員や児童・生徒のICT利活用を援助するICT支援員を配置するもの ・ICTの活用に向けた研修実施による教職員の資質向上 ・児童・生徒への活用支援 ・教職員の多忙化解消
				現在値 (H30)	ICT支援員1名配置(指導主事が兼任)			
				目標値 (H31)	ICT支援員2名配置(1名は指導主事が兼任、1名は業者委託により配置)			
6	学校指導課	【教育費】 特別支援教育推進費 〔インクルーシブ教育推進事業〕	◎ ☆	歳出額 (特財)	210 (0)	290 (0)	△ 80 (0)	障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みをつくるため、松本市特別支援教育推進協議会を設置し、松本市で導入可能な施策について検討するもの ・専門家の講師による研修会の開催 ・松本養護学校の再編整備・環境整備に関連し、分教室を含めた設置を県と検討 ・副学籍の導入
				現在値 (H30)	研修会及び協議の継続			
				目標値 (H31)	教育長への提言を実施			
(2) 未来を拓く豊かな心と生きる力の育成								
7	中央図書館	【教育費】 学都松本子ども読書活動推進事業費	◎ ☆	歳出額 (特財)	5,450 (0)	0 (0)	5,450 (0)	第2次学都松本子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの様々な力を育む読書活動を推進するため、読書環境を整備するもの ・セカンドブック事業の実施 ・子ども読書推進サポーター、読書案内人の養成
				現在値 (H30)	ファーストブック事業対象者2,200人 (セカンドブック事業未実施)			
				目標値 (H31)	ファーストブック事業+セカンドブック事業対象者 4,200人			
(3) 歴史や文化を活かしたまちづくり								
8	文化財課	【教育費】 史跡弘法山古墳再整備事業費	◎	歳出額 (特財)	9,000 (4,500)	0 (0)	9,000 (4,500)	昭和51年の緊急調査及び国史跡指定以降、本格的な調査・整備がされていない弘法山古墳について、周辺環境を含めた史跡ゾーンとして活用を図るため、大学との連携により、調査・整備をするもの ・基盤図の作成 ・現況分布調査の実施 ・調査指導委員会の立上げ
				現在値 (H30)	指定42年を経て史跡に対する理解・関心が低下			
				目標値 (H35)	保存活用計画策定、新たな保存・活用策を市民に発信			
(4) その他事業								
9	学校給食課	【教育費】 学校給食費会計公会計化事業費	◎	歳出額 (特財)	2,830 (0)	0 (0)	2,830 (0)	私会計として運用してきた学校給食費会計を、学校事務の負担軽減及び給食費会計の透明性の確保等に向け、平成32年度から公会計へ移行するもの ・公会計制度の設計 ・システム構築 (H31~35年度) 【債務負担行為】 38,820千円
				現在値 (H30)	各学校の私会計で運用			
				目標値 (H32)	公会計へ完全移行			